

第17回岡山県「内田百閒文学賞」受賞作品

【優秀賞】（岡山商工会議所会頭賞）

作品名	アゲハの記憶 <small>きおく</small> （ジャンル：短編小説）	
作者名	やまもと ひろゆき 山本 博幸（本名）	
プロフィール	<ul style="list-style-type: none">・昭和32(1957)年8月5日生（67歳）・長崎県諫早市目代町在住・無職 〈受賞歴〉 第6回安川電機九州文学賞 大賞 受賞	
作品の概要		
<p>入社式当日、解離性障害を発症して記憶をなくした沙織は、幼い時を過ごした岡山にやってきた。この街に転校してきた小学一年生の時も記憶をなくしたが、悠平と恵子という老夫婦の住む家で過ごすうちに癒されたことを思い出したからだ。その家には、死んだ恵子が残した果樹や野菜、花々が育つ庭がありアゲハ蝶が乱舞していた。恵子が生前、空襲で死んだ子どもたちが蝶になってここに来ていると語っていたことを思い出す。ある時、沙織は夢の中でアゲハ蝶になる夢を見た。目が覚めると悠平は生物の進化を語り、再生していく自分を感じる。やがて悠平も亡くなり、この家は取り壊されることになる。</p>		
審査員講評		
<p>こころに病を抱えた主人公が、庭で果樹を育て慈しみ静かに暮らす老夫婦と出会う。戦争の記憶、アゲハ蝶の生態などを追いながら、生きることへの望みを回復してゆく。幻想にとどまらず、苦味もふくんだファンタジックな作品。</p>		

※年齢は令和6(2024)年12月10日時点